

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福祉教育アセスメントセンター 放課後等デイサービス沼津センタードルフィン			
○保護者評価実施期間	2025年11月 1日		～	2025年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年11月 1日		～	2025年11月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11 月27 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出療育の種類の豊富・公園遊びも多い 定期的にしっかりとした調理実習を行なっている等療育の内容の充実	週に一度の土曜日には必ず外出関係かイベント事を用意し、地域のイベント事等にも注目をして情報をいれるようにしている。	より地域や周辺のイベントに目を配り、子どもが楽しんで参加出来るように工夫を促す。
2	作業・専門の実施。言語聴覚士が二人いる・強度行動障害加算を取る事が出来る職員が複数いる	児童に合った専門的支援の実施、言語聴覚士がいる事による支援の実施。強度行動障害研修を受けた職員が複数いる事により、パニックを起こした児童等に対しての適切な支援を行える。	専門的な支援の内容や狙い・目的を全職員に共有を行い、全ての職員が実施を行う事が出来るようになる。
3	部屋の数が多い為、各部屋で遊ぶ事が出来る。児童と一対一の話し合いや、静かに過ごしたい児童の避難先を用意する事が出来る。	児童の様子や希望、ニーズによって、静かな部屋や別室に移動して落ち着いた状況を設定して話を聞く。身体を動かしたい児童がいればそれ用の部屋に行く等、児童の要望を聞いて対応をしている。	部屋内に物置化しているスペースがある為、片付けてより広々と室内を使えるようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の利用人数が極端に少ない日がある	活動内容によって利用をしない児童等がいる。また、実習等で同時期の休みが被る期間がある。	児童達に希望を訪ねながら、参加率の高い活動内容の設定や、勧誘等を行っていく。
2	一つの室内が狭く、大きい活動や大集団による活動が出来ない	元民家を利用したものの為、子どもが広々と活動を行うには本来向いていないものと思われる。児童が複数人部屋に入ると密集度が高くなってしまい、分ける必要がある。	外出や公園あそび等で、児童が広々と活動の出来る場所の提供をおこなっていく。また、室内で大集団で出来る活動に関しても職員間で意見を出し合っていく。
3	施設の立地が悪く、トイレが一つしかなく、施設内の老朽化が激しい	長く使われている建物であり児童による破損等も見られる為、仕方のない部分はあると思われる。	マットを貼る、施設内を清潔な状態で保つ等で室内の様子をみずばらしくみせないように、極力の工夫を行っている。また、別の移転可能な施設も探しており考慮をしている。